

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0143200000	都市整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	02	土地地区画整理費	事業1	072	01070402
事業2	010	秦野駅南部（今泉）土地地区画整理事業費	事業3	001	秦野駅南部（今泉）土地地区画整理事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野駅南部土地地区画整理事業（昭和54年施行区域決定）における事業未着手地域において、市施行による土地地区画整理事業を実施している。
- ・目 的 都市計画道路3・4・4尾尻諏訪原線の接続整備、区画道路等の公共施設の整備改善及び沿道住宅地の利用増進を図る。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 良好な都市機能の向上と健全な市街地の形成
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 土地地区画整理法
- ・計 画 総合計画、都市マスタープラン

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：4,169,752千円（うち国庫対象事業費：1,735,000千円）
- ・令和5年度決算（前年度繰越分含む） 事業費（進捗率）：415,602千円（65.9%）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）：562,646千円（79.4%）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：627,628千円（94.4%）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）：232,191千円（100.0%）

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 年度当初に仮換地指定を行った区域において移転等対象者への補償及び工事を進めた。
- ・令和6年度 前年度に引き続き、年度当初に仮換地指定を行うとともに、移転等対象者への補償及び工事を進めた。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

該当なし

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

仮換地指定に基づき、移転等対象者への補償及び工事を進める。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0143200000	都市整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	02	土地地区画整理費	事業1	072	01070402
事業2	010	秦野駅南部（今泉）土地地区画整理事業費	事業3	001	秦野駅南部（今泉）土地地区画整理事業費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

令和6年度の仮換地指定により道路築造等工事が実施できる土地が増大したため、工事関連費が増大する。

また、令和7年度は複数の共同住宅が建物等移転補償の対象となることから、補償件数が増大し、補償費が増大する。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

・令和4年度予算 委託料： 11,541千円 工事費： 90,002千円 補償費： 381,060千円
 ・令和5年度予算 委託料： 27,899千円 工事費： 101,700千円 補償費： 387,560千円
 ・令和6年度予算 委託料： 74,000千円 工事費： 75,547千円 補償費： 388,730千円
 ・令和7年度予算 委託料： 127,493千円 工事費： 106,257千円 補償費： 358,090千円

※いずれも現年度予算

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

公共施設の整備改善と沿道住宅地の利用増進を図るため、移転補償、宅地造成工事及び街路築造工事等を円滑に進める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・内 容

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・内 容

(3) 自然災害対策への取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・内 容

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額（うち一般財源） 該当なし
 ・内 容

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0143200000	都市整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	02	土地地区画整理費	事業1	072	01070402
事業2	020	インター周辺整備事業費	事業3	001	インター周辺整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 インター周辺における産業拠点の整備促進のため、土地地区画整理組合に対する支援等を行う。
- ・目 的 土地地区画整理事業による公共施設の整備改善により、地域環境と調和した産業系土地利用の実現を図り、産業や地域の活性化につなげる。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 健全な市街地の形成、産業系土地利用の実現
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 土地地区画整理法、秦野市土地地区画整理事業補助金交付要綱
- ・計 画 総合計画、都市マスタープラン

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
令和5年度決算 事業費（進捗率）： 100,852千円
令和6年度予算 事業費（進捗率）： 153,967千円
令和7年度予算 事業費（進捗率）： 203,221千円
令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 インター周辺整備事業費により、戸川地区における土地地区画整理事業の事業化支援を行った。
また、秦野中井インターチェンジ南（西大竹）地区における組合土地地区画整理事業を支援した。
- ・令和6年度 インター周辺整備事業費により、戸川地区及び秦野中井インターチェンジ南（西大竹）地区における土地地区画整理事業を支援した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

事業期間が約5年間となることから、その期間中の物価及び人件費の高騰による補助対象工事費の増大及び起因して市の補助金額も増大することが懸念される。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0143200000	都市整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	02	土地区画整理費	事業1	072	01070402
事業2	020	インター周辺整備事業費	事業3	001	インター周辺整備事業費

戸川地区及び秦野中井インターチェンジ南（西大竹）地区における組合土地区画整理事業に対して技術支援を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

戸川地区における計画事業費が、令和6年度と比して増加することから、補助金が増額となったため。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和5年度予算（補助金）：補助件数 1件 97,000千円
- ・ 令和6年度予算（補助金）：補助件数 2件 153,650千円
- ・ 令和7年度予算（補助金）：補助件数 2件 203,140千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

産業や地域の活性化につなげるため、引き続き戸川及び秦野中井インターチェンジ南（西大竹）両地区で施行する組合土地区画整理事業の支援を行う。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

(3) 自然災害対策への取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

令和 7年 2月11日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月11日

所属	0143200000	都市整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	02	土地区画整理費	事業 1	072	0 1 0 7 0 4 0 2
事業 2	030	土地区画整理事業推進事務費	事業 3	001	土地区画整理事業推進事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 土地区画整理事業の啓発及び組合支援等を行う。
- ・目 的 土地区画整理事業により、道路、公園、下水道等の公共施設の整備と宅地増進を図る。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 良好な住環境の創出
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 都市計画法
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 2,728千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 3,421千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 3,930千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 関係権利者に対し、土地区画整理事業による新市街地の整備に向けた啓発を行った。
- ・令和6年度 関係権利者に対し、土地区画整理事業による新市街地の整備に向けた啓発を行った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

該当なし

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

関係権利者に対し、土地区画整理事業による新市街地の整備に向けた啓発を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和5年度から雇用している会計年度任用職員の雇用経費について、神奈川県最低賃金の改定や昇給に伴う報酬及び共済費の引き上げにより、増額となったため。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月11日

所属	0143200000	都市整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	02	土地区画整理費	事業1	072	01070402
事業2	030	土地区画整理事業推進事務費	事業3	001	土地区画整理事業推進事務費

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- ・令和5年度会計年度任用職員の報酬等： 2,077千円（予算額）
 - ・令和6年度会計年度任用職員の報酬等： 2,837千円（予算額）
 - ・令和7年度会計年度任用職員の報酬等： 3,387千円（予算額）

- 7 今後の取組方針（事業の必要性・方向性・改善方法）[A]
- 引き続き、関係権利者に対し、土地区画整理事業による新市街地の整備に向けた啓発を行う。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
- ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容
- (3) 自然災害対策への取組
- ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
- ・効果額（うち一般財源） 該当なし
 - ・内 容